

令和2年度 社会福祉法人東御市社会福祉協議会事業報告

東御市社会福祉協議会では、「人とひとが福祉でつながるまちづくり」～住民一人ひとりが尊重され、誰もが幸せを感じられる地域へ～の基本理念のもと、地域共生社会の実現に向けた地域福祉事業の展開を図りました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による経済の低迷や生活困窮者の増加に伴う社会的孤立を防ぐため、生活就労支援センター「まいさぼ東御」を中心に、総合相談体制の強化を図り、生活福祉資金の貸付事業や自立支援に係る相談支援事業、食料支援事業など、住民が抱える多様な生活課題に取り組みました。

また、コロナ禍においても、住みなれた地域で安心して暮らせるように、地域住民や関係機関と連携・協働し、行政とパートナーシップを図りながら『人とひとが福祉でつながるまちづくり』を進めるため、地域での支え合いの福祉活動の推進に取り組みました。

令和2年4月から令和3年3月までの主な事業は、次のとおりです。

I. 組織運営の強化・人材育成

1. 法人組織の運営・体制の強化

(1) 理事会 (3回)

回数・開催日	人数	上 程 議 案
第81回 2.6.12(金)	12人	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業報告及び一般会計決算 評議員選任・解任委員の選任及び解任について 評議員候補者の推薦について 評議員会の開催について
第82回 2.12.7(月)	13人	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度上期事業の概要並びに一般会計中間決算の状況について 令和2年度一般会計補正予算(第1号) 評議員候補者の推薦について 評議員会の開催について 令和3年度事業計画について
第83回 3.3.17(水)	13人	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度一般会計補正予算(第2号) 令和3年度事業計画及び一般会計予算 評議員候補者の推薦について 評議員会の開催について

(2) 評議員会 (6回)

回数・開催日	人数	上 程 議 案
第46回 2.5.8(金)	21人	<ul style="list-style-type: none"> 理事の選任について
第47回 2.6.26(金)	20人	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業報告及び一般会計決算

第48回 2.12.2(水)	21人	・理事の選任について
第49回 2.12.21(月)	19人	・令和2年度一般会計補正予算(第1号)
第50回 3.2.22(月)	21人	・理事の選任について
第51回 3.3.26(金)	19人	・令和2年度一般会計補正予算(第2号) ・令和3年度事業計画及び一般活計予算

(3) 監査

○税理士による会計指導

決算 令和2年5月15日(金) 中間 令和2年11月10日(火)

○監事による監査

決算監査 令和2年5月22日(金) 中間監査 令和2年11月20日(金)

(4) 支部長会

- ・期 日 令和2年7月22日(水)
- ・場 所 中央公民館3階 講堂
- ・参加者 59人
- ・内 容 ① 令和2年度 社会福祉協議会の会費募集について
② 令和2年度 赤い羽根共同募金の取り組みについて

(5) 法人内の連携

- ・各種プロジェクト(広報・福利厚生)の設置・推進
- ・グループウェアの導入で、情報共有を図る
- ・第2期社協発展・強化計画の推進

(6) 情報共有会議の開催

<全体会> 全1回

○令和2年10月29日(木)

コロナ禍における相談状況の共有と食料支援事業について
グループワーク「食料支援の今後の継続について」

<部会> 全3回

○令和2年5月11日(月)

新型コロナウイルス対策における社協の事業について

○令和2年9月4日(金)

新型コロナウイルス感染症に関わる対応について

○令和2年11月10日(火)

新型コロナウイルス感染症対策についてのアンケートについて

2. 自主財源の確保

(1) 社会福祉協議会への寄付

ア. 金銭の寄付

個人 34人	14団体	総額	5,511,100円
--------	------	----	------------

イ. ウェス

個人 1人	3団体	合計	4件
-------	-----	----	----

ウ. 物品の寄付

個人 34人	6団体	合計	40件
--------	-----	----	-----

介護用品		一般物品		
ポータブルトイレ 5台	紙オムツ	肌着類	ビニール袋	マスク
シャワーチェア 2台	紙パンツ	赤外線体温計	雑巾	洗濯用洗剤
車椅子 2台	尿取りパット	さらし	うちわ	カレンダー
シルバーカー 1台	尿器	タオル	長座布団	ボールペン
ペーパーシート	敷パット	寝具類	毛布	衣類
オムツ用ごみ袋	おしり拭き	トイレトペーパー	ティッシュ	糸糸

(2) 社協会員の加入状況と会費の収納

年度	会員区分	一般会員	賛助会員	法人会員	合計
令和2年 実績	人数	6,124人	745人	168法人	
	金額	6,124,000円	1,492,000円	1,565,000円	9,181,000円
令和元年 実績	人数	6,060人	819人	167法人	
	金額	6,059,000円	1,640,000円	1,565,000円	9,264,000円

3. 研修事業・人材育成

(1) 役員研修

① 信州ふっころフェスティバル（同時開催：第69回長野県社会福祉大会）

- ・期 日 令和2年11月3日（火・祝日）
- ・場 所 全プログラムを非対面型オンライン配信
- ・内 容

式典、表彰

「介護の日」スペシャルトーク～若者たちと未来を語る～

福祉の仕事！インスタPR動画大賞

ウィズコロナと共生の地域づくり

eスポーツ交流会～ユニバーサルスポーツとしても注目のeスポーツ交流大会～

令和元年度東日本台風災害から1年～「ONE NAGANO」をふりかえる～

信州共生みらいアイディアコンテスト2020

第1回長野県介護技術コンテスト

② 社会福祉トップセミナー

- ・期 日 令和3年1月14日(木)
- ・場 所 総合福祉センター(オンライン研修) 8人出席
- ・行政説明

「地域共生社会の実現と社会福祉法の改正について」

厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 課長補佐 國信 綾希 氏

<シンポジウム>

「ともに創る地域共生・信州～持続可能な地域づくりを目指して～」

○シンポジスト

氷見市社会福祉協議会(富山県) 事務局次長 森脇 俊二 氏
長野市社会福祉協議会まいさぼ長野市 所長 土屋 ゆかり氏
長野県社会福祉協議会総務企画部企画グループ主任 山崎 博之 氏

○コメンテーター

厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 課長補佐 國信 綾希 氏

○コーディネーター

成城大学 法学部 教授 打越 綾子 氏

(2) 職員研修

① 外部研修

福祉職員生涯研修【新任職員課程】、社協職員基礎研修会、会計実務中級講座、安全運転管理者研修会、日常生活自立支援事業推進会議、生活福祉資金担当者会議、生活困窮者支援推進セミナー、権利擁護推進セミナー、信州パーソナルサポート事業支援員研修会(県実施)、相談支援包括化推進員研修、生活困窮者自立支援制度人材養成研修(国実施)、都道府県研修に係る担当者研修、コミュニティにおけるソーシャルワーク力強化研修・長野、あんしん未来創造フォーラム、第7回生活困窮者自立支援全国研究交流大会、災害ボランティアセンター運営支援者研修会、福祉教育実践研修、災害時の連携を考える長野フォーラム、上小地域医療・介護連携推進研究会

② 上小ブロック役職員研修 中止

- ・期 日 令和3年2月
- ・場 所 長門老人福祉センター
- ・内 容 研修及び情報交換会等

③ 関東ブロック職員合同研究協議会 中止

- ・期 日 令和2年7月9日(木)～10日(金)
- ・場 所 神奈川県箱根

(3) 実習生の受入

社会福祉士資格取得のための相談援助実習

長野大学3年 3人(夏季 令和2年8月8日～9月12日)

長野大学2年 3人(春季 令和3年2月15日～2月24日)

(4) 職員の講師・委員等の派遣

- 生活困窮自立支援制度に係わる研修企画チーム構成員（令和2年1月～3年3月）1人
 - ・オンライン会議、研修講師、研修ファシリテーター等 全10回
- 上小圏域成年後見支援センター運営委員・小委員会委員 1人
 - ・運営委員会 2回 ・小委員会 8回
- 長野県政リモート座談会 1人
 - ・期 日 令和2年9月7日
 - ・内 容 コロナ禍における長野知事と事業所の意見交換
- コミュニティーにおけるソーシャルワーク力強化研修・長野 実践報告 1人
 - ・表 題 「社会資源を活用し人と思いをつなげるソーシャルワーク」
 - ・期 日 令和2年8月28日
 - ・対象者 社会福祉従事者 約80人
- 令和2年度長野大学相談援助実習指導Ⅰ 1人
 - ・期 日 令和2年10月20日（火）
 - ・対象者 長野大学生 20人
- 生活困窮者支援推進セミナー 現地レポート（実践報告） 1人
 - ・表 題 「くるme」～人と人とのつながりが居場所、社会福祉法人間連携+他機関で地域をそっと包む（くるむ）～
 - ・期 日 令和3年3月29日
 - ・対象者 社会福祉従事者 約80人

4. 苦情対応

- (1) 苦情受付状況 苦情受付件数 0件

5. 連絡調整事業

(1) 福祉関係団体との連絡会議

- ・期 日 令和2年 4月 20日（月） 福祉団体長会議
- ・期 日 令和2年 9月 2日（水） 障がい者福祉のつどい実行委員会
- ・期 日 令和2年 12月 2日（水） 同 反省会

(2) 民生児童委員協議会との協働

- 地域福祉事業の周知・啓発・事業に関する協力
- 福祉活動に対する助成金の交付
 - ・福祉委員（民生児童委員）活動費 81名 405,000円
 - ・生活福祉資金実費弁償 75名 225,000円
- 理事会・地区民協定例会・全体会への出席

(3) 社協法人会員の皆様へ社協事業に対する情報提供

II 総合相談、支援事業の推進

1. 生活困窮者自立支援事業

(1) 自立相談支援事業

東御市生活就労支援センター「まいさぼ東御」は、生活困窮者自立支援法に基づき、生活に困窮している方や今後その恐れのある方の総合的な相談窓口を東御市から受託し運営しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、失業や収入減による相談が例年と比較し約2.5倍に増加しました。途切れのない新規相談に真摯に対応し、特例貸付や住居確保給付金等の制度利用をはじめ、新たに食料支援や緊急就労支援を事業化するなど創意工夫を図り、多機関連携・協働の一層強化をして、相談者の生活の安心と継続に向けた支援を精力的に行いました。

<相談件数> *相談員：4人

	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
新規相談件数	179件	71件	84件	95件	76件
継続支援件数	延1,264件	延807件	延639件	延430件	439件
プラン作成件数	40件	59件	49件	45件	39件
相談対応件数	延7,284回	延5,044回	延3,202回	延2,791回	延2,500回

<新規相談件数の年齢構成>

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計
3	14	34	46	39	24	10	9	179

<法に基づく制度の利用>

自立プラン作成件数中、制度を利用した実件数（複数の制度利用あり）

制 度	件 数
住居確保給付金	9
就労準備支援事業	9
認定就労訓練事業	0
自立相談支援事業による就労支援	30
生活福祉資金等による貸付	9
生活保護受給者等就労自立促進事業	10

*新型コロナウイルスの影響により、住居確保給付金の申請において、プラン作成の条件が外れ、住居確保給付金の申請は大幅に増加しました。プラン作成者以外の利用件数は、23件です。

*自立相談支援事業の相談者のうち、プラン作成者以外の特例貸付の相談件数は、72件です。

<プラン作成者の状況>

状 況	件 数	状 況	件 数
経済的困窮	21	家計管理の課題	9
就職活動困難	16	生活習慣の乱れ	9
子育てについて	13	社会的孤立	8
家族関係・家族の問題	12	就職定着困難	8
ひとり親世帯	11	外国籍	8

<生活・就労支援に関する実績>

○就労者数

就労者数	農業	製造	福祉	サービス	小売	医療	その他	行政	土木
53 人	15	13	7	6	6	2	2	1	1

○プチバイト（就職活動応援金付職場体験事業）

体験者数	農業	福祉	サービス
11 人	8	1	2

○緊急就労支援事業・東御市緊急就労支援事業助成金

新型コロナウイルス感染症の影響による失業者等を支援するため、支援対象者を2カ月以上雇用した事業所に対して、長野県社会福祉協議会から2カ月の賃金の2/3（上限192,000円）と、東御市から1/3（上限96,000円）を助成しました。

就労者数	農業	製造	医療	サービス	小売	その他
23 人	16	2	1	1	1	2

○身元保証・就労支援事業

利用者数：1件、契約締結事業所：1件

○入居保証・生活支援事業

利用者数：4件、契約締結家主：3件

<協力事業所登録・就労体験・見学>

職場見学・就労体験・プチバイト・認定就労訓練について協力する事業所を募り、登録票を提出の上、パンフレットにしました。（赤い羽根地域生活支援公募配分事業）

○協力企業数…23か所（令和元年度：17か所）

農業	医療・福祉	製造	警備	サービス	小売り	運輸
10	4	3	2	2	1	1

○協力内容（協力事業所以外の事業所も含む）

新型コロナウイルス感染症の影響により、積極的な活動は控えました。

自立相談支援による就労体験	プチバイト	職場見学
1	10	2

(2) 家計改善支援事業

家計状況を家計表やキャッシュフロー表に整理し、相談者の家計管理の意欲を引き出す相談支援を行いました。また必要に応じ、債務整理や貸付のあっせん、支出減の助言や支援を行いました。

<利用件数と利用による改善状況>

○利用件数（プラン作成件数） 7件

○利用による改善の状況（利用件数7件のうち、改善状況を、1件につき複数カウント）

内 容	件数	内 容	件数
自身の家計の現状把握	4	将来の収支変化の見通し	2
家計管理の重要性の認識	2	自立意欲の向上・改善	2
支出費目の優先順位位置付け	3	生活習慣改善	1
家計の範囲内での支出	1	対人関係・家族関係の改善	1

(3) 子どもの学習・生活支援事業

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、活動が行えない期間がありましたが、東御市教育委員会や、市民ボランティアとの連携で、新たなニーズの発見や、支援員の強化ができ、来年度は利用の増加が見込まれています。

<利用件数>

利用者数	実施日数	実施時間	支援員数
3名	18日	35時間	2名

<結果・改善状況>

支援結果・経過	件数
家庭生活習慣の習得	1
学校生活の定着	2
登校渋りの予防	2
自己有用感や自信をつける	3

(4) 就労準備支援事業

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響もあり、個別プログラムを中心に事業を行いました。個々のニーズに沿った計画を行い、年度の後半には集団プログラムも開催しました。支援により一般就労に繋ぐことができたケースもありました。

<利用件数>

登録者数	集団プログラム実施回数	市民サポーター	一般企業への就労
8名	4回	4名	1名

(5) 会議・研修等

支援調整会議 11回 研修・会議 13回

2. 日常生活自立支援事業

高齢者や障がいがあり判断能力が不十分な方々にとっても、東御市で安心して自立した生活が送れるように、福祉サービスの利用に関わる相談などの援助を行いました。

専門員：4人 生活支援員：5人

(1) 相談件数 延2,104件（新規・既契約含む）

専門員訪問調査回数	利用援助回数	ケース検討会議	書類等預かり件数
延204回	延662回	延27回	23人 71件

(2) 実利用者数 26人

	認知症	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
新規	0	0	0	0	0
解約	2	2	1	0	5
総件数	6	9	6	5	26

*新規契約件数0件、解約件数5件（うち成年後見制度移行件数2件）

(3) 専門員・支援員利用援助回数 延662回

(4) 金銭管理、財産保全サービス事業（市社協扱い）契約件数 2件

3. 生活困難・困窮者への支援

(1) 生活支援の貸付相談件数 延563件

(2) 生活資金貸付総件数（市社協扱い）

◆生活資金（助け合い資金） 21件 326,000円

(3) 生活福祉資金貸付件数（県社協扱い）

◆福祉資金 1件 77,000円

◆教育支援資金 1件 1,824,000円

(4) 生活福祉資金特例貸付（県社協扱い）

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等により生活資金が不足している世帯を対象に特例貸付を実施しました。特に自営業や飲食店、パートや派遣社員等の相談が多数を占め、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するに伴い、多様な生活課題に対して、まいさぼ東御と連携を図り、食料支援や生活の立て直しに向けた支援を行いました。

ア) 各制度の貸付要件

	生活福祉資金貸付制度（特例措置）	
	緊急小口資金	総合支援資金
貸付対象者	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯
貸付上限	学校等の休業、個人事業主等の特例の場合、20万円以内 その他の場合、10万円以内	(二人以上) 月20万円以内 (単身世帯) 月15万円以内 貸付期間：原則3月以内
据置期間	1年以内	1年以内
償還期限	2年以内	10年以内
貸付利子	無利子	無利子

イ) 特例貸付申請件数

単位：件

	緊急小口資金	総合支援資金	総合支援資金延長	総合支援資金再貸付	
4月	32	1	/	/	
5月	28	8			
6月	30	8			
7月	14	16	1		
8月	9	11	0		
9月	8	10	3		
10月	1	9	4		
11月	0	0	1		
12月	6	12	3		
1月	0	6	3		
2月	1	5	4		4
3月	1	7	11		4
合計	130	93	30		8

・総合支援資金においては3か月を超える貸付に対し、令和2年7月より延長の申請が開始しました。また、令和3年2月より6か月を超える貸付に対して再貸付の申請が開始にしました。

ウ) 特例貸付貸付額

- ◆緊急小口資金特例 130件 22,230,000円
- ◆総合支援資金特例 131件 63,220,000円

(5) 生活福祉資金等貸付相談嘱託員の設置 相談員 3人

- ・滞納世帯への訪問 81回
- ・償還延回数 16件
- ・償還額 16,000円

(6) 緊急食料支援件数

従来型の食料支援は、新型コロナウイルスの拡大で4月、5月まで行い、フードバンク信州による食料支援は9月まで実施しました。

○食料寄贈受入

寄贈者	受入件数	個数	食料(kg)	米(kg)
個人	1	1	0	27.0
団体	3	456	27.3	0
企業	1	180	8.4	0

※缶詰、レトルト食品、味噌汁、カップ麺等

○食料支援

支援者	支援世帯数	延支援回数
東御市社会福祉協議会独自支援	20	24
フードバンク信州(ななせ仲まち園)	13	52

(7) 緊急一時食料支援事業(フードサポートとうみの縁)

新型コロナウイルス感染症の拡大の生活困窮者の増加に伴い、緊急的に食料支援事業を立ち上げました。食料は東御市市民等から寄付を受けつけ、市内郵便局と協働(フードポスト)しながら食料を集めました。実施期間は令和2年5月25日から令和3年3月末日ですが、令和3年4月以降も延長をして実施しています。

○利用者実人数 152人

○利用者延人数(令和2年5月25日から令和3年3月31日)

月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3.1月	2月	3月	合計
人数	7	84	94	54	35	37	27	51	50	47	49	535

○寄付受付者延人数(令和2年5月25日から令和3年3月31日)

月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3.1月	2月	3月	合計
人数	16	63	58	17	17	16	24	46	19	48	43	367

○食料在庫量(寄付や寄付金から購入)

食品…1,839kg(レトルト食品、即席めん、缶詰等)

米…2,205kg

○食料品購入金額 194,364円+商品券36,000円分 計230,364円

4. 結婚相談事業

350,021 円

新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、4月～6月は相談所を休止にしました。7月以降は、コロナ禍における生活環境の変化により、結婚相手を求める者及びその相談が増加する事も想定されることから、感染予防対策を実施の上で開所しました。

- (1) 相談状況 相談員 5人
- ・相談日 毎週日曜日 午前9時～正午
 - ・相談場所 中央公民館 学習室

開催日数	相談件数	相談登録者数	お見合い件数	結婚成立件数
35日	延 108件	175人 (男134人女41人)	9件	0件

(2) 東御市結婚活動支援実行委員会

- ・結婚相談員（会長）と社協事務局担当者が実行委員として参加
- ・10月24日（日）に上田地域定住自立圏が主催した婚活イベント（東御市芸術むら公園）に、同実行委員として相談員・職員を各11名派遣

(3) 4市町村結婚相談員連絡会事業（東御市、長和町、青木村、立科町）

- ・4市町村との結婚相談員連絡会及び情報交換会
令和2年度から、より広域での情報交換等を目的として立科町が参加
年間（毎月開催）11回 参加人数 延40人

5. 赤い羽根地域生活支援公募配分事業

長野県共同募金会の地域生活支援公募配分事業の決定を受け実施し、相談者や地域社会とのつながりが薄く地域社会に居場所や役割が少ない人など、人とのつながりの中で自立に向けた歩みができるよう、地域社会で支え合う仕組みづくりと発信を行いました。

(1) 子どもだれでも居場所づくり事業 通称：「くるme」

市内社会福祉法人と公益財団法人と協働実施により、各種相談事業や関係機関が声掛けを行い、親子や青年から高齢者と学生や市民ボランティアが協働し、誰もが役割を持ち、自己肯定感や人とのつながりで安心できる居場所づくりを行いました。新型コロナウイルス感染症の影響と体験活動の充実のため、場所は屋外活動及び北御牧支所で実施しました。

○活動実績

実施日	全参加人数	スタッフ	大人	子ども	世帯数	場所	内容
4月末～5月初旬	19	4	10	5	10	総合福祉センター	食料配布・近況確認
6/13	24	8	10	6	10	総合福祉センター	弁当配布・近況確認
7/25	47	25	9	13	8	芸術むら公園	カヤック・外遊び・弁当配布
8/10	71	38	15	18	13	芸術むら公園	カヤック・外遊び・弁当配布
9/25	53	28	10	15	9	芸術むら公園	カヤック・外遊び・弁当配布
10/10						芸術むら公園	台風接近により中止

11/28	50	28	9	13	8	芸術むら公園 北御牧公民館	外遊び・屋内遊び・歓談・弁当配布
12/26	39	21	7	11	7	北御牧公民館 北御牧小学校	外遊び・屋内遊び・歓談・弁当配布
1/23	27	7	12	8	12	総合福祉センター	弁当配布・近況確認
2/27	42	15	12	15	9	北御牧公民館	アートワークショップ・ 外遊び・屋内遊び・ 歓談・弁当配布
3/27	50	17	13	20	11	ケアポートみまき	アートワークショップ・ 外遊び・屋内遊び・ 歓談・弁当配布
合計	422	191	107	124	97		

○その他活動

実施日	人数	場所	内容
令和2年 10月19日	23人	総合福祉センター	当事者・東御市・東御市社協・みまき福祉会・身体教育医学研究所・長野大学・楽育ひろばが参加し、子どものいる世帯の課題について学習会を開催
令和3年 3月29日	6人	みまき福祉会	「生活困窮者推進セミナー」（長野県社協主催）において、開始当初（平成30年12月）からの取組みについて現地レポート（オンライン）で実践発表を行い、講師から講評をもらう

(2) 仕事・生活サポーター事業

自立相談支援事業の相談者やその子どもに、オーダーメイドの支援をするために、市民に支援員（サポーター）登録について依頼をしました。生活改善や自立に向け、支援員が相談者との人間関係を築き、相談員と常に連携と相談をしながら、伴走支援を行いました。主に、就労準備支援事業への同行参加や、買い物の付き添いなどの活動を行いました。

○実績数

利用者数	利用回数	サポーター数	支援内容	孤立防止	生活・社会自立 意欲喚起	就労自立 意欲喚起
4人	79回	4人		4	4	2

(3) 第2回あんしん未来創造フォーラム

～コロナ禍だからこそ、希望をもって支え合う東御市へ～

コロナ禍で生活や就労の相談が多く寄せられました。相談状況を改めて確認しながら、様々な生活課題を持つ人々と地域住民が共に生きていくにはどのような知恵や行動が必要であるか、北九州のNPO法人抱樸の奥田知志先生の実践から学び、行政・社協・事業所・市民の皆さんと東御市の未来について考える機会を作りました。事後アンケートでは、支え合うまちづくりへの期待やそれぞれが出来ることを持ち寄り連携することの重要性などの感想や気づきがありました。

・期 日 令和3年3月25日（木）

・場 所 東御市中央公民館 講義室、オンライン（Webexによる） 参加人数 60人

・内 容

- ① 講義：「困りごとや生きづらさを抱える方への伴走支援」
～特定非営利活動法人抱樸の取組みから～
講師：特定非営利活動法人 抱樸 理事長 奥田 知志 氏
- ② 体験発表：経済的困窮状態から現在までの生活と相談機関との関わり
発表者：村山 修 氏
- ③ 報告：「コロナ禍の相談状況と地域のあゆみ」
東御市社会福祉協議会
- ④ 意見交換：テーマ「講師への質問、東御市の50年後の未来に向けた思いなど
参加者と講師との質疑応答

Ⅲ 地域福祉活動

【 地域ささえあい活動の支援・推進 】

1. おらほの地域福祉づくり事業

510,000 円

新型コロナウイルスの感染拡大により、支部における活動が変化する中で、“人が集まらなくてもできる支部活動”の提案を求める声が支部役員から多く寄せられました。そこで、住民の交流という点においては、訪問活動の充実（メニュー：サロンの活性化・見守り活動）を提案しました。また、人が集まらない期間だからこそ、普段できない地域の防災活動（メニュー：支えあい台帳・マップ）等を検討いただくべく、支部への働きかけを行いました。特に、災害時支えあい台帳については、県及び市の重点事業に指定され、支部による要望も多いことから、社協としても「災害時支えあい台帳の手引き」を作成し、配布しました。

<継続支部> 7支部 210,000 円

支部	取り組み状況	取り組みメニュー
加沢	3年目	支えあいマップづくり
栗林	3年目	災害時支えあい台帳づくり
海善寺北	3年目	支えあいマップづくり
本海野	2年目	災害時支えあい台帳づくり
金井	2年目	いきいきサロンの活性化
西深井	2年目	災害時支えあい台帳づくり
島川原	2年目	災害時支えあい台帳づくり

<新規支部> 10支部 300,000 円

支部	取り組み状況	取り組みメニュー
田中	新規	災害時支えあい台帳づくり
白鳥台	新規	災害時支えあい台帳づくり
大石	新規	地域の絆を深める活動
別府	新規	いきいきサロンの活性化
新張	新規	支えあいマップづくり
西宮	新規	災害時支えあい台帳づくり
東上田	新規	地域の見守り活動
寺坂	新規	災害時支えあい台帳づくり
宮	新規	災害時支えあい台帳づくり
大日向	新規	支えあいマップづくり

2. 支部福祉活動の支援

(1) 支部福祉活動助成金の交付

67支部 1,962,000 円

(2) 地区別地域福祉懇談会 17,227 円

小地域における福祉活動を推進していただく支部（区）役員、福祉運営委員、民生児童委員、高齢者クラブ、サロンを担うボランティア等を対象に、社協が実施する地域福祉事業について理解を促し、各支部の取り組む「いきいきサロン」等の地域福祉活動を円滑に進めていただく為に開催しました。今年度は参加者数を制限するなど感染予防対策を講じて実施しました。参加者にはコロナ禍における活動について、その参考となる内容を「with コロナハンドブック」としてまとめて配布しました。

・総参加者数 199 人

地区	開催日	場 所	人数
田中	令和3年2月15日(月)	中央公民館	39人
滋野	令和3年2月24日(水)	総合福祉センター	33人
柵津	令和3年2月22日(月)	総合福祉センター	37人
和	令和3年2月19日(金)	総合福祉センター	46人
北御牧	令和3年2月17日(水)	北御牧公民館	44人

(3) いきいきサロン等助成事業 214,250 円

各支部で行うサロン事業に助成を行いました。コロナ禍で実施回数は大幅に減少しましたが、茶会・会食会をふれあい訪問に変更するなどして実施しました。

・実施支部 19 支部 ・総参加者 2,347 人

事業	会食会	茶会	世代間交流	福祉新聞の発行	講演・講習会
回数	20回	43回	0回	3回	1回
参加者数	438人	794人	0人	540人	
事業	課題調査	福祉施設訪問	食事サービス	ふれあい訪問	
回数	2回	0回	2回	14回	
参加者数	161戸		53人	1,062人	

(4) 地域活動援助講座

サロンを運営する福祉運営委員やボランティアを対象に、サロンで活用できる料理講習会を、感染予防対策を講じて開催しました。例年調理して試食をしていますが、持ち帰りの対応にしました。参加者からは簡単で美味しくできると好評でした。

○ いきいきサロンのための料理講習会 2回

- ・対象者 各区福祉運営委員
- ・講師 東御市食生活改善推進協議会会員

期 日	テーマ	参加者
令和2年9月2日(水)	いきいきサロンのための手軽に作れるおやつ	21人
令和3年3月5日(金)	いきいきサロンのための手軽に作れる昼食	23人

(5) 地域の絆づくり支援事業

- ・レクリエーション用品の貸し出し

ハンドベル、お手玉、輪投げ等ゲーム用具等 41 件

- ・支部福祉活動の相談会 39 回

いきいきサロンの実施内容や、災害時支えあい台帳の推進方法などを検討する支部の会議に参加しました。コロナ禍におけるサロンの開催や災害時における地域の支えあい活動などの話題を共有し、今後の取り組みについて情報交換しました。

(6) 地域への出前講座 13 回

各支部で開催するサロンが感染予防を考慮して中止とする例が多く、出前講座についても依頼が減少しました。

講 座	回数	講 座	回数
介護予防体操 (レクリエーション)	3 回	エンディングノート	0 回
認知症講座	0 回	レクリエーション等補助	1 回
介護保険の上手な使い方	0 回	ようこそ！社協	1 回
ボッチャ体験	7 回	その他	1 回

(7) 福祉運営委員長研修会

5 月に検討していましたが、新型コロナウイルスの感染状況を考慮して中止としました。11 月に開催した「介護の日・福祉講演会」を同研修会として案内しました。

3. 福祉のまちづくり講座「とうみ男の遊び塾」

34,180 円

◆延べ参加者 29 人 ◆参加申込者数 12 人

回数	開催日時	開催内容	開催場所	参加人数
1	令和2年9月16日(水)	男のお抹茶塾	総合福祉センター	9人
2	令和2年11月25日(水)	男のむかし遊び塾	東御市第2体育館	10人
3	令和3年1月20日(水)	男の万華鏡塾	総合福祉センター	10人
4	令和3年3月に予定	男の料理塾	総合福祉センター	中止

4. 介護講座「あった介護教室」

令和3年3月27日(土)に認知症をテーマにした講演会を予定していましたが、コロナの感染状況を考慮し、中止としました。

5. 福祉自動車貸し出しサービス事業

351,705 円

- ・登録者 利用会員数 96 人

- ・利用延回数 137 回 (内、福祉移送ボランティア 16 回)

6. 福祉用具貸与事業

419,862 円

貸出物品	備品台数	利用件数
介護用ベッド	67	73
車椅子	90	110
マットレス・エアマット	63	69
ポータブルトイレ	51	54
その他（歩行器等）	19	14
合 計	290	320

※車いすの利用件数の内、35 件は短期間の貸出件数

【 共同募金配分事業 】

1. 高齢者への活動

(1) ひとり暮らし高齢者の福祉サービス

○ふれあい会食会

6月に予定していましたが、大人数で会食を伴う事業の為、コロナの感染状況を考慮し中止としました。

○おせち料理

331,604 円

例年、民生児童委員に対象者の把握と調理、訪問についてご協力をいただいておりますが、コロナ禍であることや衛生環境を整えることが困難であることから、調理については取り止めました。調理は市内の飲食店に委託し、対象者の把握と訪問については民生児童委員に従来通りご協力をいただき実施しました。

- ・期 日 令和2年12月30日(水)
- ・訪 問 担当民生児童委員 延 62人
- ・対象者

一人暮らし 高齢者	高齢者 世帯	障がい者 独居世帯	障がい者 世帯	父子家庭	合 計
114人	6世帯	7世帯	6世帯	2世帯	135世帯

(2) 敬老祝賀事業

○金婚祝賀

64,923 円

東御市と東御市高齢者クラブ連合会で主催（共催：東御市社会福祉協議会）する金婚祝賀式典において、祝品（慶祝状の額）を贈呈しました。

- ・金婚祝賀式典 令和2年9月17日(木)
- ・該当者 51組
- ・会 場 中央公民館 講堂

○敬老祝賀

736,000 円

市内の米寿、白寿を迎える高齢者を対象に、敬老祝品（寝具等）を贈呈しました。贈呈については、訪問を希望する対象者に市長と社協会長が訪問させていただき、その他の方は民生児童委員に協力を依頼し贈呈しました。

- ・対象者 合計 232人（米寿祝212人・白寿祝20人）
- ・祝賀訪問55人 令和2年9月24日～25日

2. 障がい者への活動

(1) 第16回障がい者福祉のつどい

31,458 円

12月3日～12月9日の「障がい者週間」の啓発期間に併せ、市内の関係機関・団体で実行委員会を組織し、障がい児者の抱える諸課題について啓発を行いました。例年の昼食交流会は取り止め、講演会のみを開催しました。

- ・期 日 令和2年11月21日(土)
- ・会 場 中央公民館 講堂
- ・参加者 福祉団体等から 64人

- ・内 容 講演会「パラスポーツに思いを寄せて」～パラアスリートからの発信～
講師：(公財) 長野県障がい者スポーツ協会 加藤 正 氏

(2) 障がい者社会参加支援事業助成 150,000 円

地域における障がい児者への理解を深め、運動・スポーツを通して障がい児者の社会参加を推進する活動に取り組む『みんなの健康×スポーツ実行委員会（事務局：公益財団法人身体教育医学研究所）』に助成金を交付しました。コロナ禍における事情を考慮し、例年実施していた行事を一部中止としましたが、感染予防対策を講じてボッチャのクラブ活動を中心に取り組みました。

- ① ユニバーサルスポーツの場づくり「わくわくスポーツクラブ」への支援
開催期間 令和2年6月～令和3年2月（9回）毎月第3土曜日 10：00～12：00
場 所 東御市第2体育館・東御市総合福祉センター
対 象 参加者196人 サポーター125人 スタッフ等65人 総数386人
内 容 『ボッチャ』を中心とした活動
- ② 東御市社会福祉協議会「ボッチャ審判養成講座」開催支援
開 催 日 令和2年9月6日(土)
場 所 東御市総合福祉センター
講 師 日本ボッチャ協会公認B級審判 稲部宗宏 氏
参 加 者 身体教育医学研究所スタッフ、スポーツ指導員等11人
- ③ 総合型スポーツクラブ設立準備委員会主催「おもしろスポーツ体験会」開催支援
開 催 日 令和2年11月21日(土)
場 所 東御市第2体育館
内 容 ボッチャ等の体験活動
参 加 者 255人
- ④ 長野県ボッチャ審判スキルアップ講習会
開 催 日 令和2年11月29日(土)
場 所 千曲市ことぶきアリーナ
内 容 オンラインによるボッチャ審判講習
参 加 者 身体教育医学研究所スタッフ・スポーツ指導員等7人

3. ボランティア活動

(1) ボランティア連絡協議会・ボランティア団体活動補助金(27団体)の交付 465,000 円

市内のボランティア団体43団体・個人ボランティア17名が登録している東御市ボランティア連絡協議会の運営経費補助金60,000円と、同協議会に登録し、社会福祉協議会の推進するボランティアの啓発活動を協働して取り組む27団体に15,000円の補助金を交付しました。

(2) 男性の料理サロン「楽ちん・しあわせごはん」4回 87,592 円

期 日	テーマ	参加者
令和2年 8月22日(土)	ドライカレー 他	13人
10月10日(土)	ミルフィーユ牛カツ 他	13人
12月19日(土)	手打ちそば 他	12人
令和3年 2月13日(土)	エビチリ、チャーハン 他	12人

4. 児童への活動

- (1) ひとり親家庭交流支援事業 350,368 円
例年は東京ディズニーリゾートへの旅行を企画し、ひとり親家庭の交流会を実施していましたが、今年度はコロナ禍において関東方面への旅行が困難な為、感染予防対策を講じて「ふれあい映画会」を開催、映画鑑賞及びビンゴ大会・昼食のテイクアウトにより実施しました。
- ・期 日 令和2年12月20日(土)
 - ・場 所 中央公民館 講堂
 - ・参加者 11世帯29人(大人12人・子供17人)
- (2) 福祉協力校の指定、活動助成(8校) 400,000 円
市内の小中学校・高校8校を対象に、社会福祉への理解と関心を高めるとともに、社会への奉仕や連帯の精神を養う等、福祉教育の推進を図ることを目的として助成金を交付しました。 ※実績については福祉教育分野に別掲。

5. 社会福祉の啓発

- (1) 社協報「ほほえみ」(ボランティア情報「かわら版」含)の発行 2,178,000 円
・発行回数 年6回 奇数月の16日発行
・発行部数 10,800部
・編集委員 2人
- (2) 啓発パンフレットの作成、配布 165,000 円
・「社協のしおり」550冊
- (3) ホームページでの情報発信
[アドレス URL <http://www.tomisyakyo.or.jp>]
- (4) 介護の日「福祉講演会」の開催 47,681 円
厚生労働省が介護課題を啓発する為に設けた「介護の日」に併せて、介護の日「福祉講演会」を開催しました。今年度はコロナ禍におけるテーマを設定し、介護課題の啓発活動を推進しました。また、5月に開催予定であった福祉運営委員長研修会も兼ねて開催しました。
- ・期 日 令和2年11月9日(土)
 - ・場 所 東御市総合福祉センター3階 講堂
 - ・来場者 28人
 - ・内 容 ◆講 演
「コロナ禍における医療・介護現場の状況について」
講 師 長野県看護協会認定看護管理者教育課程 専任教員
元東御市民病院看護部長、認定看護管理者
長野県看護協会人材育成支援部 谷川幸弘 氏

6. 多世代サロン

(1) 多世代交流サロン “おいでよサンサン” 254,253 円

子供から大人まで多世代にわたり交流する拠点づくりと、高齢者の生きがいを目的に開催しましたが、参加者の多くが高齢者であり、多世代交流については課題がありました。月毎の開催を予定していましたが、感染予防のため、年8回の開催としました。参加者の多くは高齢者であるが、生きがいの場として喜んでいただきました。

- ・開催回数 合計8回（令和2年7月～12月、令和3年2月～3月）
- ・参加者数 延65人（男：7人・女：58人）

IV 福祉教育、ボランティア活動の推進

1. 福祉教育の推進

福祉協力校として指定した市内の小中学校・高校で取り組んだ福祉教育実践活動は下記のとおりです。各校ともに、感染症予防対策を講じて、福祉施設等との交流や福祉体験学習などに取り組みました。

<活動内容>

学校名	内 容
田中小	赤い羽根共同募金、エコキャップ収集など
滋野小	車いす体験、アイマスク体験、ユニセフ募金、アルミ缶回収活動、書き損じはがき収集、赤い羽根共同募金など
祢津小	点字・手話体験、車いすツインバスケット体験、祢津保育園との交流、赤い羽根共同募金
和 小	福祉講演会、アイマスク体験、点字体験、赤い羽根共同募金、ユニセフ募金、エコキャップ・アルミ缶集めなど
北御牧小	点字・手話体験、アイマスク（対話型鑑賞）体験、福祉講演会、赤い羽根共同募金、ペットボトルキャップ集めなど
東部中	赤い羽根共同募金、使用済み切手収集、書き損じはがき収集など
北御牧中	北御牧保育園との交流、がん教育講演会、小中あいさつ運動、アルミ缶・書き損じはがき・テレホンカード収集、ペットボトルキャップ・牛乳パックの回収など
東御清翔高	全校クリーン作戦など

<福祉体験学習>

学校名	実施回数	講師	ボランティア	延人数	内 容
田中小	1回	0名	0名	89名	防災学習
滋野小	2回	2名	9名	88名	対話型鑑賞体験(アイマスク体験)、車いす体験
祢津小	3回	8名	9名	132名	手話体験、点字体験、車いすツインバスケット体験
和 小	2回	1名	6名	106名	点字体験、アイマスク体験
北御牧小	4回	5名	8名	124名	対話型鑑賞体験(アイマスク体験)、手話体験、点字体験、福祉講演会
東御清翔	2回	0名	0名	27名	ようこそ！社協へ、ポッチャ

2. ボランティア活動の推進

コロナ禍における影響により、ボランティア団体の取り組む活動が制限された傾向にあったが、音訳・点訳・手話等、障がい者の生活を支援するボランティア活動や災害時を想定したボランティア活動に継続して取り組みました。

(1) ボランティアに関する登録・相談・情報提供・調整の状況

コロナ禍でのボランティア活動の問い合わせが多くありました。

- ・ボランティア団体登録数 80 団体
- ・ボランティアバンク登録者数 71 人 延 5,231 人
- ・相談者数 3,496 人
(来所 1,675 人・電話 686 人・メール 190 人・訪問 130 人・その他 815 人)
- ・相談件数 ボランティア依頼・受付・相談等 延 8,272 件
- ・ボランティア相談・依頼件数 音訳・点訳・施設ボラ、出前講座等 延 1,119 件

(2) ボランティア活動保険の補助

新型コロナウイルス感染予防のため活動を自粛しているボランティアが多く、保険の加入も例年の半数程度でした。

- ・加入者数 基本プラン 82 人
天災プラン 477 人
- ※保険料補助 天災プラン 438 人 (社協負担 210 円) 100,200 円

(3) ボランティア連絡協議会の活動支援

例年、ボランティア連絡協議会と協働し、ボランティア団体の交流を図り、ボランティアの普及啓発に取り組んでいますが、コロナ禍における影響により、例年開催している行事の多くを中止としました。

① 自然を楽しむ会 (障がい者とボランティアの交流会)【中止】

規模の縮小や屋外での開催を含めてボランティア連絡協議会役員と検討しましたが、参加者の大半が高齢者や基礎疾患を有する方もいるなど、新型コロナウイルスに感染するリスクが高いため中止としました。

② ボランティアセンター研修会【中止】

- ・期 日 令和3年2月6日(金)
- ・場 所 東御市中央公民館3階講堂
- ・参加予定者 5団体 15人参加
- ・内 容 ①体操「イスに座ってできる体操」
講師 公益財団法人身体教育医学研究所
健康運動指導士 横井佳代 氏
- ②講演「感染症の理解を深める」
講師 東御市立みまき温泉診療所
医師 斎藤文護 氏

※中央公民館3階講堂で、感染予防対策を講じて開催を計画していましたが、長野県内での新型コロナウイルス感染者の増加を受け、講師と調整し中止としました。

(4) 上小ブロックボランティアフォーラム【中止】

- ・期 日 令和2年10月24日(土)
※延期日令和3年1月23日(土)
- ・場 所 長和町長門町民センター集会ホール
- ・参加者 60人募集(上小地区全体)
- ・内 容 講演会
演題「元気アップ運動～ボランティアが支える地域の健康～」
講師 国保依田窪病院 理学療法士 山崎健一 氏

※感染予防対策を講じて開催予定でしたが、上小地域内での感染者の増加により中止になりました。

(5) 信州発ボランティア・市民活動フォーラム【中止】

- ・新型コロナウイルス感染症予防のため開催中止

3. ボランティアの養成、研修

(1) 夏のボランティア体験教室(サマーチャレンジボランティア)

- ・期 日 令和2年8月8日(土)
- ・場 所 東御市総合福祉センター1階ボランティアルーム1、2及び3階研修室
- ・内 容 視覚や聴覚に障がいがある方への情報保証を行っているボランティア活動体験
- ・参加者 27人
(体験者12人・実習生3人・ボランティア8人・講師3人・社協職員1人)

※体験するブースを3か所に分け、機器の消毒、手指の消毒等を行いながら開催

(2) 手話ボランティアスキルアップ講習会 4回

- ・期 日 令和2年11月7日(土) 午前・午後各1回…充実コース
令和3年1月9日(土) 午前・午後各1回…初心者コース
- ・内 容 充実コース2回、初心者コース2回
- ・参加者 延 21人
講 師 長野県聴覚障害者協会登録講師 矢野 吉江 氏
本木 理恵 氏

※会場の変更、手指消毒等を行いながら開催

(3) 音訳ボランティア養成セミナー 3回

- ・期 日 令和3年2月18日、2月25日、3月2日
- ・場 所 総合福祉センター ボランティアルーム2、講堂
- ・参加者 延 19人(りらの会入会4人)
- ・講 師 元SBCアナウンサー 大久保智恵子 氏、音訳利用者 両角雪弥 氏
りらの会会員、社協職員

(4) 音訳スキルアップ講習会 4回

- ・期 日 令和2年9月3日(木)、9月17日(木)…初級コース
令和2年10月6日(金)、11月13日(金)…上級コース
 - ・参加者 延 42人
 - ・内 容 朗読技術向上
 - ・講 師 元SBCアナウンサー 大久保 知恵子 氏
- ※会場の変更、手指消毒等を行いながら開催

(5) 災害ボランティア養成講座 11,864円

- ・期 日 令和2年8月29日(土)
- ・場 所 東御市第2体育館
- ・参加者 民生児童委員、ボランティア等 合計58人
- ・内 容 東御市における災害を想定し、グループに分かれてワークショップを実施。県社協と協働し「コロナ禍における災害ボランティアの在り方」をテーマに、参加者へ情報提供しました。

(6) 福祉教育サポーター養成講座

- ・期 日 令和3年3月16日(火)、3月23日(火)
- ・場 所 総合福祉センター1階ボランティアルーム1
- ・参加者 延7人
- ・内 容 車いす体験、アイマスク体験
- ・講 師 森祐子 氏(車いす体験)
広沢里枝子 氏(アイマスク体験)

※参加人数の制限、機器の消毒、手指消毒等を行いながら開催

4. 福祉の森ふれあいフェスティバル

- ・期 日 令和2年10月24日(土) 新型コロナウイルスの影響により中止

5. 福祉施設ボランティア担当者連絡会議

担当者連絡会議としての開催ではなく、書面により施設のボランティアの受け入れ状況と課題の把握をしました。

- ・期 日 令和2年5月25日(月) 提出締切り
- ・参加者 8施設
- ・内 容 ボランティア受け入れ状況と課題の把握

6. ボランティアセンター運営委員会の開催

- ・期 日 令和2年7月16日(木)
 - ・参加者 13人
 - ・内 容 ボランティアセンターの現況と今後の課題について
- ※手指消毒、換気等を行いながら開催

V 在宅福祉サービス・支援事業

1. 高齢者支援

- (1) 介護予防事業の運営（市受託） 6,209,163 円

市委託事業として、高齢者の閉じこもり・認知症・うつ予防等、要介護状態の予防を目的に、ミニデイサービスと筋トレ事業を受託して取り組みました。新型コロナウイルスの感染状況により、ミニデイサービスは令和2年4月中旬から、筋トレ事業は令和2年6月からの実施となりましたが、以降もコロナ禍の影響を受け、利用実績はやや低調でした。

介護予防事業	利用実人員	延利用者	実施日数	一日平均
ミニデイサービス（火）～（金）	37人	1,116人	174日	6.4人
筋トレ教室（月）	9人	167人	39回	4.3人

- (2) こんにちは訪問事業（安否確認事業）（市受託） 14,148 円

市の判断により、介護サービスの提供等を受けていない安否確認が必要な一人暮らし高齢者宅に、福祉運営委員等の協力をいただき、定期的に野菜ジュースを届けて安否確認を行いました。

- ・2支部 利用者実人数 3人
- ・訪問活動者実人数 11人
- ・配布本数 262本

- (3) 寝具洗濯乾燥サービス事業（市受託） 519,108 円

概ね70歳以上の高齢者の単身世帯と高齢者世帯等で、寝具類の衛生管理が困難な世帯を対象に、寝具類の洗濯乾燥サービスを実施しました。

- ・実施回数 2回（6月・11月）
- ・利用実人数 57人
- ・利用者数 延90人
- ・利用枚数 171枚
- ・対象者 寝具の衛生管理が困難な者

- (4) 在宅介護者リフレッシュ事業（市受託） 112,186 円

在宅で要介護高齢者を介護している家族を対象に、心身のリフレッシュ（元気回復）を目的に、介護者相互の交流機会の確保に取り組みました。食事についてはテイクアウトを活用する等、感染予防対策を講じて行いました。

- ・実施回数 3回
- ・内容 健康相談、介護技術講習、健康体操、介護者交流、元気回復等

実施日	場所	参加者
令和2年9月4日（金）	総合福祉センター お弁当テイクアウト	5人
令和2年11月16日（水）	御牧原てらす	4人
令和3年3月3日（水）	布引いちご園、あぐりの湯こもろ	6人

(5) 寝たきり高齢者希望の旅事業

- ・新型コロナウイルスの影響により開催中止

(6) 家族介護者サロン“太陽の会”交流会

介護者同士の交流の場を設けて、介護者の負担の軽減を図るため交流会を行いました。年3回の予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため、2回の実施となりました。

- ・期 日 令和2年7月15日、9月16日
- ・会 場 総合福祉センター ボランティアルーム
- ・参加者 延11人

2. 障がい者支援

(1) 重度障がい者希望の旅事業

167,006円

重度障がい者を対象に、外出機会の確保を目的に取り組みました。リフト付きバスを所有するバス事業者と調整し、バス内の換気システムにおいて感染対策を行えることを確認の上、座席を隣り合わせにせず、間隔をあけた配置にすることで、安心して参加できる旅行を目指すなど、感染予防対策を講じて実施しました。

- ・期 日 令和2年9月12日(土)
- ・場 所 長野県中野・飯山市方面(りんご狩り・昼食・博物館)
- ・参加者 心身障がい者6人、介護者2人
ボランティア7人、社協職員2人 計17人

(2) 視覚障がい者への音訳、点訳サービス支援

462,000円

文字による情報入手が困難な視覚障がい者を対象に、市の広報誌や社協報等の音訳・点訳をボランティアの協力を得て実施しました。

利用者 8人

- ・音訳・・・市報、市報お知らせ版、社協報、他
- ・点訳・・・生涯学習カレンダー、選挙公報、社協報、他

VI 介護保険事業と障害福祉サービス

1. 訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

(1) 訪問介護・介護予防日常生活支援総合事業（訪問型独自サービス）

要介護又は要支援の認定を受けた方を対象に、訪問介護計画を作成し、ホームヘルパーを派遣して身体介護及び生活援助等のサービスを提供しました。

重度の利用者の入院・死亡や、自宅で介護保険のサービスを利用しながら生活される利用者も減る傾向にあり、利用者が減少しました。

○ホームヘルパー数 6人 ○利用総数 延 336件

<介護度別 延利用者数>

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
令和2年度	23	96	97	71	11	8	30	336
割合	7	29	29	21	3	2	9	100
令和元年度	36	116	112	70	15	20	34	403

<月別利用者数 要介護1～5> 利用実人員 30人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和2年度	23	20	19	18	18	18	18	18	18	18	15	14	217
令和元年度	26	24	20	22	23	23	19	18	18	18	19	21	251

<月別利用者数 要支援1・2> 利用実人員 14人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和2年度	13	11	11	11	10	9	9	9	9	9	9	9	119
令和元年度	8	10	11	13	13	13	13	13	14	14	15	15	152

<サービス内訳>

サービス名	予防介護		身体介護		身体・生活		生活援助		総合計	
	回数	提供時間	回数	提供時間	回数	提供時間	回数	提供時間	回数	提供時間
令和2年度	494	519	1,551	1,058	306	412	218	153	2,569	2,142
月平均	41	43	129	88	25	34	18	12	214	178.5
令和元年度	593	625	2,344	1,267	264	362	306	250	3,507	2,504

(2) 障がい福祉サービス事業（居宅介護・重度訪問介護・同行援護）

障害支援区分認定を受けた方のうち、介護給付費支給決定を受けた方を対象に、居宅介護等計画を作成し、ホームヘルパーを派遣して身体介護、家事援助及び外出時介助等のサービスを提供しました。

介護保険事業と比較し障がい福祉サービスは、専門資格及び経験が必要であるため、研修の受講・資格取得等を今後どのようにしていくか検討していきます。

	実利用者数	延利用者数	延利用回数	延提供時間数
令和2年度	10人	111人	880回	1,105.25時間
令和元年度	14人	117人	933回	1,232.25時間
増減	-4人	-6人	-53回	-127時間

(3) 地域生活支援事業（移動支援事業）

障害支援度区分認定を受けた方のうち、社会活動等のための外出に係る支援が必要な方に対し、ホームヘルパーを派遣して外出に係る移動の支援等の必要なサービスを提供しました。

	実利用者数	延利用者数	延利用回数	延提供時間数
令和2年度	7人	48人	325回	427.5時間
令和元年度	8人	47人	367回	576時間
増減	-1人	+1人	-42回	-148.5時間

(4) ほほえみサービス事業（自費サービス）

制度外のサービスを希望される方に対し、ホームヘルパーを派遣し希望されるサービスを提供しました。独居・老世帯の方の入院中の洗濯サービス等、制度では対応できないニーズへの対応を図りました。

	実人数	延利用回数	延利用者数	延提供時間	家事援助	通院介助	身体
令和2年度	6人	59回	27人	65時間	65時間	0回	0回
令和元年度	4人	73回	37人	75.5時間	75.5時間	0回	1回
増減	+2人	-14回	-10人	-10.5時間	-10.5時間	0回	-1回

(5) 養育支援訪問事業（市委託）

保護者が事由等により養育が一時的に困難となり支援が必要だと判断された家庭に対し、家事支援等を提供しました。

	実人数	延利用回数	延利用者数	延提供時間
令和2年度	1人	5回	1人	5時間

<その他の活動>

- ・広報誌「ほほえみ」へのコラム掲載

<定例会議>

月	研修内容
令和2年10月	・コロナウイルス感染症による研修 ・感染対策マニュアルの確認
令和3年3月	・令和3年度の個別研修計画について

2. 居宅介護支援事業

市から介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援事業の一部を受託し、要支援認定を受けられた方も、要介護認定を受けられた方も、各種のサービスなどを利用しながら自宅でその人らしい生活ができるよう、本人、家族等に寄り添い、ケアプラン（居宅サービス計画）を作成しました。国の通達より感染拡大予防のため、ケースによって担当者会議（照会）等も書面や電話などを利用し関係機関との連携を図りました。利用者の訪問への不安も、電話での状況把握や玄関先で短時間の訪問など利用者に合わせて対応しました。

また、広域連合からの介護認定調査の受託や、特定事業所加算Ⅱ算定事業所であるため、地域包括支援センターからの対応困難ケースの受け入れにも積極的に取り組み、毎朝のミーティングを行う等ケースの情報の共有を行いました。研修については、オンライン研修に取り組みました。

○ケアマネージャー人数 5人 ○利用総数 延2,013件

<活動状況>

業 務	介護	介護予防 介護予防ケア マネジメント	計
ケアプラン作成総件数（給付管理件数）	1,893件	118件	延 2,011件
モニタリング訪問件数	2,042件	45件	延 2,087件
要介護認定調査（広域連合から）	33件	0件	延 37件
担当者会議開催件数	180件	5件	延 185件
アセスメント実施件数	180件	5件	延 185件
事例検討実施件数	11件	0件	延 11件
対応困難ケース受け入れ件数	8件	0件	延 8件

<月別居宅サービス計画（ケアプラン）作成件数>

		令和元年度実績	令和2年度実績	増減
延作成件数	介護	1,679件	1,893件	+196件
	介護予防	103件	118件	+15件
月平均	介護	139.9件	157.7件	+17.8件
	介護予防	8.6件	9.8件	+1.2件

<月別居宅サービス計画（ケアプラン）作成件数>

○要介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和2年度	144	151	153	159	152	161	165	161	171	164	161	151	1,893
令和元年度	138	135	133	132	132	143	148	148	149	143	140	138	1,679

○要支援 介護予防支援・介護予防支援ケアマネジメント支援

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和2年度	10	8	10	10	10	9	8	10	10	11	11	11	118
令和元年度	6	6	8	8	9	8	8	10	10	10	10	10	103

<介護度別ケアプラン作成件数>

○要介護

介護度	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
件数	828	561	230	199	75	1,893
月平均	69	46.8	19.2	16.6	6.3	157.7

○要支援

介護度	支援 1	支援 2	計
件数	40	78	118
月平均	3.3	6.5	9.8

<研修実績>

月	研 修 内 容 (外部)
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン研修 ケアマネージャーによる合意形成の進め方 8つの要点 ・地域推進会議（東御市の介護の状況・地域での見取りと在宅医療）
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネネット部会：高齢者福祉課 包括支援係との情報共有
9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・久堀医師との情報交換・事例検討
10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・久堀医師との情報交換・事例検討会 ・ケアポートみまき合同事例検討会
11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・久堀医師との情報交換・事例検討会 ・ケアマネネット：事例検討
12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン点検 ・久堀医師との情報交換・事例検討会 ・ケアマネネット：事例検討 ・多職種連携会議：これからの東御市の医療と介護を考える ・オンライン研修：総合的な権利擁護推進セミナー
1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン研修 居宅サービス計画の課題・目標・サービス内容の考え方・書き方
2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネネット：ケアプラン点検を終えて ・オンライン研修 主任ケアマネ更新研修（2.17～3.17） ・認知症講演会 ・令和2年度福祉経営セミナー
3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネネット：今年度の反省・次年度へ向けて（照会のみ） ・令和3年度介護報酬改定説明会

<その他の活動>

- ・東御市民間事業所連絡協議会への参加
- ・広報誌「ほほえみ」へのコラム掲載

Ⅶ その他の福祉活動支援

1. 長野県共同募金会東御市共同募金委員会事業

社会福祉法人長野県共同募金会の東御市共同募金委員会を組織し、協働して募金活動等に取り組みました。

(1) 赤い羽根イベント・募金活動

○街頭募金の実施（原則、各日職員2人により実施）

実施日		場 所
10月1日（木）	道の駅 雷電くるみの里	10月2日（金）しなの鉄道 田中駅
10月3日（土）	道の駅 雷電くるみの里	10月4日（日）道の駅 雷電くるみの里
10月6日（火）	やおふく 東御店	10月7日（水）デリシア 東部店
10月8日（木）	ベイシア 東御店	10月10日（土）道の駅 雷電くるみの里
10月11日（日）	道の駅 雷電くるみの里	10月13日（火）しなの鉄道 田中駅
10月15日（木）	道の駅 雷電くるみの里	10月16日（金）やおふく 東御店
10月18日（日）	道の駅 雷電くるみの里	10月21日（水）ベイシア 東御店
10月22日（木）	しなの鉄道 田中駅	10月23日（金）デリシア 東部店
10月25日（日）	道の駅 雷電くるみの里	10月28日（水）道の駅 雷電くるみの里

○戸別募金・・・行政区ごと支部長へ依頼

○学校での赤い羽根募金の取り組み 市内小中学校7校へ依頼

○職域募金の依頼 東御市役所職員、信州うえだ農協職員、東御市社協職員等

○東御市振興公社 温泉施設へ募金箱設置の依頼

○市内大手スーパー店頭へ募金箱設置の依頼

○市内企業へ企業募金の依頼

○自動販売機募金 道の駅「雷電くるみの里」、武道館、湯楽里館、総合福祉センター

(2) 赤い羽根、歳末助け合い共同募金収納結果

◎令和2年度赤い羽根募金収納総額

6,410,744円

<募金別内訳>

募金の種類	金額	内訳
戸別募金	5,944,875	6,513戸
街頭募金	138,919	市内5か所で計19回実施
法人募金	100,000	17法人
学校募金	40,492	市内5校
職域募金	55,795	東御市、社協、JA信州うえだ東御支所
イベント募金	0	
個人募金	11,039	
その他	23,221	募金箱、繰越金、利子等
送金合計	6,314,341	

県共募預り金	2,910	個人ネット募金
自動販売機募金	93,493	県共同募金会へ直接送金
収納総額	6,410,744	

(3) 共同募金会からの配分事業

令和2年度の市社協の地域福祉事業へ配分実績 4,750,818円
(令和元年度の収納額6,512,818円の実績から、東御市への配分金)

<事業別配分内訳>

事業	金額	事業	金額
高齢者への活動	1,064,000	その他	2,717,818
障害児・者	230,000	合計	4,750,818
児童・青少年	739,000		

(4) 災害見舞金

・住宅火災 3件 被災者4人 40,000円

2. 日本赤十字社事業

(1) 赤十字奉仕団総会 新型コロナウイルス感染予防のため文書審議

- ・期 日 令和2年4月22日(水)
- ・内 容 令和元年度東御市赤十字奉仕団事業報告及び決算報告について
令和2年度東御市赤十字奉仕団事業計画及び予算について

(2) 日赤活動資金募集会議

- ・期 日 令和2年5月20日(水)
- ・場 所 東御市総合福祉センター3階 講堂
- ・内 容 日赤活動資金募集に係る事務説明

(3) 日赤活動資金募集総額 ・支援者数 5,671人 ・寄付者 27人 4,083,900円

(4) 健康生活支援講習会

- ・新型コロナウイルスの影響により中止

(5) 一日赤十字(炊き出し及び救急法講習会)

- ・新型コロナウイルスの影響により中止

(6) 日赤奉仕団視察研修会

- ・新型コロナウイルスの影響により中止

(7) 災害見舞

・住宅火災 3件 被災者4人 毛布7枚 10,000円

3. 被災者義援金

- (1) 東日本大震災 (令和2年4月1日～令和3年3月31日現在)
- | | | |
|--------------|--------|--------------|
| 令和2年度 | 3件 | 50,000円 |
| (平成23年からの累計) | 1,133件 | 40,787,935円) |
- (2) 平成30年7月豪雨災害 (令和2年4月1日～令和3年3月31日現在)
- | | | |
|--------------|-----|-------------|
| 令和2年度 | 0件 | 0円 |
| (平成30年からの累計) | 14件 | 1,365,897円) |
- (3) 令和元年台風15号千葉県災害 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)
- | | | |
|-------------|----|----------|
| 令和2年度 | 0件 | 0円 |
| (令和元年からの累計) | 2件 | 25,050円) |
- (4) 令和元年台風19号災害 (令和元年10月17日～令和2年3月31日)
- | | | |
|-------------|-----|-------------|
| 令和2年度 | 3件 | 526,901円 |
| (令和元年からの累計) | 21件 | 1,523,624円) |
- (5) 令和2年7月豪雨災害 (令和2年7月7日～令和3年3月31日)
- | | | |
|-------|----|----------|
| 令和2年度 | 2件 | 174,063円 |
|-------|----|----------|
- (6) 令和3年2月福島県沖地震災害 (令和3年2月24日～令和3年3月31日)
- | | | |
|-------|----|---------|
| 令和2年度 | 0件 | 34,429円 |
|-------|----|---------|

4. 社会福祉団体活動の支援

- (1) 福祉団体交流会 (ボッチャ)
新型コロナウイルスの影響により中止
- (2) 福祉団体活動補助金 1,440,000円
- | | |
|------------|------------|
| ○身体障害者福祉協会 | 420,000円 |
| ○高齢者クラブ連合会 | 150,000円 |
| ○手をつなぐ育成会 | 120,000円 |
| ○遺族会 | 530,000円 |
| ○更生保護女性会 | 60,000円 |
| ○保護司会 | 160,000円 |
| 合計 | 1,440,000円 |